



敬愛より



No.65

H31.2.28 発行



愛校作業も全力集中！

先日、卒業を控えた9年生が「愛

校作業」を行い、職員室やアトリウ

ム、教室の床を丁寧に磨きました。

よく見ると、使っているのは雑巾ではなく軍手！日ごろは2年生が掃除する場所ですが、力の強い9年生が研磨剤入りの洗剤を使って磨くと、汚れはみるみる落ちてきれいになりました。6階の各教室に上がってみると、ワックスがけも終えて、2年前新築当時のフロアの輝きがよみがえっていました。

2時間にわたって全力集中して磨き続ける姿に9年生らしさを感じました。



96%で目標達成！

～各種学力調査の結果～

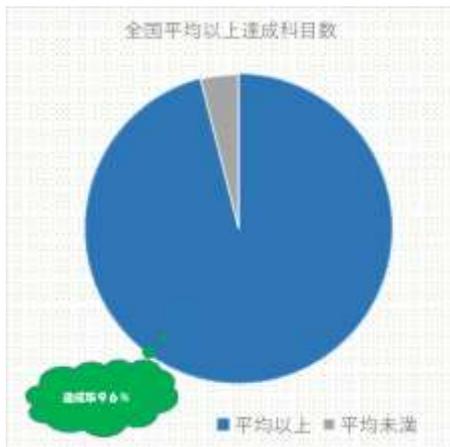
保護者代表3名と学校運営協議会会長にご参加いただいて、27日（水）に本年度2回目の学

向上会議を開催し、学校と家庭・地域が連携した学力向上の方策について協議しました。

3～9年生を対象とした今年度の各種学力調査の結果が出そろいました。本校では全国平均以上達成科目95%を目指して取り組んできました。実施教科は異なりますが、各教科とも基礎的・基本的な内容と活用力を問う2種類の問題で構成されており、全国平均と比較できるものは全部で50種類。その中で平均を超えたのは48種類。これを率にして表すと96%。目標達成です。会議で交わされた主なご意見（趣旨）は次のとおりです。

- ◆校舎西側の1、3、5、8年の授業を参観したが、どの授業も子どもたちが落ち着いて、楽しそうに学んでいた。対話を重視した学習活動の中で、話す人の方を向く、発言に対して反応するなど、学びに向かう姿勢も良かった。
◆平均が全国を超えることだけでなく、家庭学習の習慣や環境が整っていなかったり、学習につまずきがあったりする児童生徒の学力保障も大事。ひとり一人の学習実態に合わせて、より一層きめ細かな指導をお願いしたい。
◆答えが分かると家でも自信をもって宿題の答え合わせができるけど、時々不安になることがあり、そういう姿を子どもには見せたくはないので、ネットで調べるなど、結構苦労している。授業は自分が想像していた以上に楽しかった。遅れてきた子がいて、その子を迎えるクラスの様子に温かみを感じた。上級生になるほど拳手は少なくなるイメージを持っていたが、そんなことはなくて、みんなよく発表していた。

- ◆1、3、5、8年の授業を見て、子どもたちの発達の過程がよく分かった。これが碩田学園の特徴で、よさだと思った。学力や体力が年々良くなっていることもよく分かった。感謝したい。
◆自己肯定感のうち、自己有用感や自己有能感は学校の教育活動を通じて育てられる。自己の存在そのものを肯定的に受け止めるには、家庭での愛情が大切。行ってらっしゃいやお帰り、ありがとう、よしよしといった言葉をかけてほしい。時には頭をなでたり、抱っこしたりして、甘えさせてあげることも大事にしていきたい。



- ◆学級一役のアンケートがまだの方はご提出をお願いします。
◆年度末ですので、各種徴収金が未納の方は、納入をお願いします。